

運営方法・入会申込要領

▶ 運営方法

- ・年7回の例会（例会6回+特別例会1回）を開催いたします。
- ・各例会には複数名までのご参加が可能です。
- ・各例会、開催の約1ヶ月前に連絡担当者様宛に、メールで詳細のご案内をお送りいたします。出欠等については当本部HPのマイページ上からお手続きをお願いいたします。
- ・講師の都合等により、やむを得ず日程を変更する場合がございます。予めご了承くださいませようお願いいたします。

▶ 年会費（1組織あたり、税込）・入会申込

会員企業	会員労組
66,000円	33,000円
一般企業	一般労組
77,000円	38,500円

- ・入会は当本部HPよりお手続きをお願いいたします。
- ・第1回例会終了後、連絡担当者様宛に請求書をお送りいたしますので、指定口座へのお振込みをお願いいたします。
なお、恐れ入りますが、振込手数料は貴組織にてご負担をお願いいたします。
- ・年度途中までのご入会も可能です。
その場合、年会費は特別例会を除いた未開催例会数で按分いたします。

労使共通の今日的課題を研究する

2026 労使 研究会

日程 2026年5月～11月（年間7例会開催）

対象 企業・団体の人事労務部門責任者および担当者
労働組合の役員、リーダーおよび組合員のみなさま

開催形式 ハイブリット開催（一部例会を除く）

オンライン受講ポリシー・ご依頼事項

各例会は一部を除き、ハイブリット開催を予定しております。オンラインでご受講いただく場合、下記についてご確認をお願いいたします。

▶ ご依頼事項

- ・ご受講にあたっては、マイク・カメラ付きPCのご用意をお願いいたします。
- ・セキュリティが高く、安定した通信環境をご用意の上、ご受講ください。
※研究会に集中でき、第三者に情報が漏れない場所で、ご受講ください。
※音声や画像は、参加者の皆さままでご調整ください。
- ・受講用URLは、研究会開催日の2営業日前を目途に、連絡担当者の方へEメールで送信いたしますので、参加者の皆さまへご連絡いただけますようお願いいたします。

▶ オンライン受講ポリシー

- ・参加者としてご登録いただいた方以外が研究会を視聴されることや、講義の録音・録画、SNSなどへの掲載を固くお断りいたします。また、研究会で使用する資料・電子ファイル記載事項の無断転載は禁止します。
- ・当方に起因しないシステムトラブルまたは、参加者の皆さまがご利用の機器のトラブルにより、音声や画像に乱れが生じた場合などについては、再送信や参加費の返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・参加者もしくは代理参加以外の参加はご遠慮願います。
(オンラインの場合、受講用URL等は参加されるご本人のみ有効です。第三者への転送はご遠慮ください。)
- ・本注意事項については、代理参加となった場合は、代理参加者に自動的に適用されます。

お問合せ

四国生産性本部

〒760-0033 高松市丸の内2-5(ヨンデンビル)

TEL : 087-887-6404 FAX : 087-851-4270 E-mail : toiwase@spc21.jp

個人情報の取り扱いについて

- (1) 参加申込によりご提示いただきました個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。
なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<https://www.spc21.jp/>)をご参照願います。
参加されるご本人、申込責任者の皆様におかれましては、内容をご確認・ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。
- (2) 個人情報は、本研究会に関わる参加者名簿等の作成ならびに当本部が主催・実施するサービスのご提供や事業のご案内のために利用させていただきます。
但し、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。
- (3) 個人情報の開示、訂正、削除については、総務広報部個人情報保護担当窓口 (tel 087-887-0512) までお問い合わせください。

第1回

パワハラと言われない業務指導とは何か
～現場で迷わない判断軸のポイントをおさえる～

第2回

(1) SHIONOGIの働き方改革と人的資本戦略の考え方について
(2) ダイバーシティ推進が組織を強くする

第3回

若手が辞める会社・伸びる会社の「決定的な違い」
～新入社員の本音から紐解く、人が辞めない職場の作り方～

第4回

人事制度のトレンドと自組織制度見直しのポイント
～流行ではなく自組織に合う人事制度とは～

第5回 (特別例会)

人手不足が常態化する時代に、中途採用者を組織になじませるには
～改めて「中途採用者へのオンボーディング」を考えてみる～

第6回

社員の心が離れるエンゲージメント向上施策の特徴とは
～組織が向き合うべき三つの要因と、具体的な対策～

第7回

メンタルヘルス対応の“グレーゾーン”を法律で読み解く



四国生産性本部

第1回例会 5月22日(金) 13:30～16:30

会場のみ

テーマ パワハラと言われない業務指導とは何か
～現場で迷わない判断軸のポイントをおさえる～

講師 弁護士法人高井・岡芹法律事務所 パートナー弁護士 帯刀 康一 氏

本例会では、なぜ職場のパワハラを防止しなければならないのか、どのような法規制等があるのかに触れながら、裁判例や現場事例をもとに、上司が「パワハラにならない業務指導」を行うための判断軸と実践法についてご解説いただきます。

第2回例会 6月26日(金) 13:30～16:30

会場+オンライン

テーマ SHIONOGIの働き方改革と人的資本戦略の考え方について

講師 塩野義製薬株式会社 経営戦略本部 人事部長 河本 高歩 氏

塩野義製薬(株)では人的資本を経営の重要な課題として位置付けており、多様な働き方を可能にする制度設計をはじめとした様々な施策を行ってきました。本例会では自己投資支援制度などによる従業員が自律的に学ぶ環境づくりや、所定労働時間の見直し、選択週休3日制度導入等のこれまで実施してきた働き方改革に加えて、今後のJT医薬・鳥居薬品との統合による制度の統一や、グローバル化に対応する組織・制度設計といった今後の変革についてもご紹介いただきます。

テーマ ダイバーシティ推進が組織を強くする

講師 日立グループ連合 会長 半沢 美幸 氏
日立製作所労働組合 中央執行委員長

多様な人材が、それぞれの力を発揮できる環境づくりは、組織の持続的成長に欠かせません。本例会では、日立製作所労働組合が取り組んできた多様性を尊重する働き方改革等の実践を通じ、ダイバーシティ推進がいかに関の強さと変革力を生み出すのかについて考えます。

第3回例会 8月19日(水) 13:30～16:00

会場+オンライン

テーマ 若手が辞める会社・伸びる会社の「決定的な違い」
～新入社員の本音から紐解く、人が辞めない職場の作り方～

講師 株式会社ジェイック
Human Growth Division Partner Strategy Manager 稲本 太郎 氏

「最近の若手は何を考えているのか...」その答えは本音の中にあります。本例会では、(株)ジェイックの最新アンケートを基に、若手のリアルな意識を徹底分析。「早期離職が続く会社」と「若手が自走し、次なる新人が集まる会社」の決定的な違いを解き明かします。定着率を高める具体的な処方箋を学び、最強の採用ブランディングに繋げましょう。「選ばれ、育つ組織」への転換を今、ここから始めませんか？

第4回例会 9月9日(水) 13:30～16:30

会場+オンライン

テーマ 人事制度のトレンドと自組織制度見直しのポイント
～流行ではなく自組織に合う人事制度とは～

講師 株式会社寺崎人財総合研究所 代表取締役 寺崎 文勝 氏

人事マネジメントを取り巻く環境は、人的資本経営への取り組み・ジョブ型人事への対応・人手不足・若手社員の価値観の変化などにより大きく変化しており、抜本的な制度の見直しが求められています。本例会では人事制度の最新トレンドを整理したうえで、自組織に合った制度を設計・見直すための考え方と実践ポイントについてご説明いたします。

第5回例会 9月17日(木) 13:30～16:30

オンラインのみ

テーマ 人手不足が常態化する時代に、中途採用者を組織になじませるには
～改めて「中途採用者へのオンボーディング」を考えてみる～

講師 甲南大学 経営学部 教授 尾形 真実哉 氏

今後、間違いなく日本の労働力、特に将来を担う若い労働力は減少していきます。労働力はどんどん減っていくのに、仕事量はどんどん増えていく。この状況を打破するためには、当然ながら良い人材を採用するしかありません。若い労働力が減少していく中で、企業の重要な人材採用方法となるのが、中途採用になります。中途採用者をいかに職場になじませ、高いパフォーマンスを発揮してもらうかが、会社の持続性を左右することになるでしょう。中途採用者をうまく職場になじませ、高いパフォーマンスを発揮してもらうために求められるオンボーディング施策を提示したいと思います。

第6回例会 10月23日(金) 13:30～16:30

会場+オンライン

テーマ 社員の心が離れるエンゲージメント向上施策の特徴とは
～組織が向き合うべき三つの要因と、具体的な対策～

講師 株式会社Unique Self 代表取締役 山口 直樹 氏

エンゲージメントへの注目により、向上施策に取り組む組織が増えている一方で、施策を行っても一向に状況が改善せず、むしろ抵抗感を持つ社員が出てきているという声も多く聞かれます。本例会では社員の心が離れるエンゲージメント向上施策の特徴を三つの要因に分けて解説し、それらの要因に対する具体的な対策についても紹介します。

第7回例会 11月12日(木) 13:30～16:30

会場+オンライン

テーマ メンタルヘルス対応の“グレーゾーン”を法律で読み解く

講師 HRプラス社会保険労務士法人 代表社員 佐藤 広一 氏
特定社会保険労務士

近年、メンタルヘルス不調を抱える社員への対応は管理職や人事担当者にとって避けて通れないテーマとなっています。一方で、どこまで踏み込んでよいのかといった判断に迷う“グレーゾーン”が多いのも実情です。本例会では、メンタルヘルスについて法的な視点から判断の軸を整理し、組織として取るべき対応やリスク回避の考え方について解説いただきます。

※第5回例会は、「人財採用・育成研究会」が主催で開催する例会に「労使研究会」会員の皆さまにもご参加いただける特別例会として開催いたします。